

平成22年度 生涯学習推進協議会第1回会議 議事録

日 時：平成22年7月14日（水）
午後1時30分～3時30分
会 場：木更津市役所6階 会議室

出席者 工藤会長、小磯副会長、金子委員、平野渡委員、渡辺委員、浅井委員、辻本委員、土屋委員、池田委員、佐久間委員、鴨川委員、（11名）

事務局 初谷教育長、鶴岡教育部長、石井次長、根本参事兼生涯学習課長、原主幹、野中副主幹、松本主査

1. 委嘱状交付式

辞令交付——水越市長より

水越市長挨拶

本日は、ご多忙にも関わらず、木更津市生涯学習推進協議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、日頃より市政各般にわたり、ご理解、ご協力を賜り、誠に感謝を申し上げます。とりわけ 生涯学習の推進につきましては、格別なご尽力を賜っておりますことに、心より厚く御礼を申し上げます。

また、ただ今新任の方7名、再任の方7名の14名の皆様に、委員の委嘱をさせていただきました。任期中生涯学習推進に関する総合的施策の樹立に向けてご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、市民の皆様が、生涯を通して絶えず 新たな知識や技術を習得し、より豊かで充実した人生を送るための環境づくりが求められておりますが、生涯学習への関心は、ますます高まっております。

このような中であって、昨年の11月に市民会館で開催した生涯学習フェスティバルは、皆様方のご協力のもと、シドニーオリンピックマラソン日本代表の川島伸次さんの記念講演、少年少女の主張や消費生活展を始め、多くのイベントがおこなわれ、平成22年と比較して1,400人余り多い、8,178人の方にご来場いただきました。

また、本市では、清和大学と連携して開催している生涯学習市民公開講座がございしますが、毎年、幅広い年齢層の方にご参加をいただいております。

さらに、生涯学習バスの稼働率も昨年は83.6パーセントと高い利用率になっている状況でございます。

今日、私たちをとりまく社会環境が大きく変化する中で、心の豊かさや充実した人生を探究する前向きな姿勢が、市民の学習活動を活発化させている大きな要素であると考えます。本市といたしましては、「心豊かなひとづくり」の理念のもとに、市民の声を反映させた、市民参加による生涯学習活動や社会教育活動の更なる充実に努めてまいりたいと考えております。

本日は、当協議会の正副議長を選出いただきましたのちに、昨年度の事業報告と今年度の事業計画についてのご審議をお願い申し上げます。

是非、委員の皆様のご意見が頂戴できれば幸いです。

結びに、委員の皆様には、本市生涯学習体制推進のため、また、市民の生涯学習の活動をさらに高めるために、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日の会議にあたり挨拶とさせていただきます。

2. 教育委員会事務局職員、生涯学習推進協議会委員の自己紹介

水越市長並びに鶴岡部長退席

事務局：生涯学習推進協議会設置要綱第6条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席があり、本日の会議は成立しておりますので、平成22年度木更津市生涯学習推進協議会第1回会議を開催します。委嘱替えをして初めての会議ですので、会長が決まるまで事務局で進行をします。

3. 議事

木更津市生涯学習推進協議会正副会長の選出について

事務局：生涯学習推進協議会設置要綱第5条により、本会の会長及び副会長は委員の互選による。となっておりますが、いかがでしょうか。

事務局の案はありますか

事務局：会長には木更津工業高等専門学校長の工藤委員、副会長に木更津市各種婦人団体連絡協議会の小磯委員をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

委員全員：異議なし

事務局：全員異議なしのため、工藤委員を会長に、小磯委員に副会長をお願いいたします。それでは、工藤会長よりごあいさつをお願いいたします。

工藤会長：日頃の活動を踏まえて貴重なご意見をお願いします。また、率直なご意見をお願いしたいと思います。

小磯副会長：前期に引き続き今期もということで重責ではございますが、今年度も務めさせていただきます。

事務局：ありがとうございました。生涯学習推進協議会設置要綱第6条により、会長に本会議の議長として今後の議事進行をお願いします。工藤会長よろしく願いいたします。

平成21年度木更津市生涯学習事業について

工藤会長：これより進行を務めさせていただきます。平成21年度木更津市生涯学習事業についてですが、生涯学習市民公開講座、生涯学習フェスティバル、生涯学習バス「ま

なび」の運行状況の3点について事務局の説明をお願いします。

事務局：木更津市生涯学習市民公開講座は、60代の方が最も多いですが、あらゆる世代の方が参加しており、昨年度は129人の参加がありました。例年参加は右肩下がり傾向のところ、ほぼ同じ参加人数を推移し、最終回は若干減でした。

生涯学習フェスティバルは、昨年度市民会館フェスティバルとリサイクルフェアの三者合同開催をいたしました。あらゆる分野からの参加があり、効果的な開催をすることが出来ました。公式発表した参加人数は、全体で12,000人、生涯学習フェスティバルの公式発表した参加人数は8,178人で、昨年度より1,400名余り多い人数の参加を得ることが出来ました。天気にも恵まれ、昼頃には大変大勢の人の出があり、盛大に開催することが出来ました。

開催に関する問題点としては、三者合同開催ということもあり「民」と「官」が共に開催するという点です。会場に来た方は同じように見えるかもしれませんが、どうぞご参加ください、お膳立てはこちらでしますという「民」と、みんなで準備から開催まで作り上げていきたいと思いますという社会教育的な手法をとる「官」では、参加する団体の意識が違います。

生涯学習バスまなびは、生涯学習活動に役立てるバスということで運行しております。18、19年頃からサスペンションなど運転が不安定となってきましたので、特段の配慮から平成20年に新車購入となりました。稼働率は高率で運行されています。あらゆる社会教育団体の利用を頂いております。バスを有料にしたらというご意見をよくいただきますが、営業行為を行えない車両となっています。

工藤会長：平成21年度木更津市生涯学習事業について、質疑に入ります。

ご意見、ご質問のある委員の方お願いいたします。

佐久間委員：市民公開講座は、連続して参加している方がいると思うが、どのくらいの割合がありましたか。

事務局：アンケートはとっていますが、リピーター率は正確な人数はわかりません。全体の6割くらいは、リピーターかと思われます。

浅井委員：市民公開講座は、毎年同じ項目のアンケートですが、どのくらい次回取り上げられているのか、一定の所に偏りがいないか、今年重点目標をあげて実施しているのかというところはどうか。

事務局：市民公開講座は、毎年清和大学にアンケート結果を考慮していただきながら内容をみていただいています。例えば、昨年は映画「レッドクリフ」が上映された関係から、三国志を取り上げましたが、沢山の内容のため今年度も続きをという声に答えて今年も取り上げます。また、短大からも今年は初回に講義をいただきます。毎年重点目標ということではありませんが、テーマを決めて実施しています。

浅井委員：いつも清和大学で市民公開講座を開講しているようですが、偏りがあるように思うがどうですか。別の学校の先生の講義があってもいいのではないのでしょうか。

事務局：市民公開講座は市の委託事業で実施している関係から、内容も清和大学で決めていただいています。

浅井委員：生涯学習フェスティバルは、本委員であるから何か手伝うべきと思い、お

手伝いが何かないかとこちらが申し出たところ、事務局の方でやりますからという答えでした。自由な立場でご参加いただきたいということでもよいでしょう。

事務局：実行委員会形式をとっているの、団体ですすでに準備をしているところであったためそのようなことになったと思います。自由なお立場で講演会等ご参加いただき、ご意見等伺えたらと思います。

平成22年度木更津市生涯学習事業について

工藤会長：では次に平成22年度木更津市生涯学習事業について事務局説明をお願いします。

根本参事兼生涯学習課長：本市の生涯学習は、現在8割が公民館で行われています。個人の要望を満たすとともに社会の要請に答えることが大切で、知の循環をするなどバランスを保つことは大事です。

また、家庭教育の教育力を高めること、未来の子どもの安心安全、健全育成の推進、ユース・アフターボランティアの育成は特に力を入れていきます。市内には、16公民館ありますが、今年度は5館周年事業を実施します。公民館活動は、市の活動を支える重要な位置にあります。

なお、生涯学習フェスティバル2010の開催、平成22年度生涯学習市民公開講座の開講など、いつでも誰でも自由に学べる「生涯学習都市きさらづ」を目指す施策の展開を図っています。

関連としては、木更津高等専門学校は主催してテレワークセミナーを5回実施しています。ボランティア活動もさかんで、清見台公民館に近いことから、清見台公民館では今年も通学合宿のときに3、4年生のボランティア15名にお世話になりました。

工藤会長：金子委員、何かご意見ありますか。

金子委員：公民館は、非常に多くの方が参加し活動している生涯学習の「センター」ということなのではないかと思います。学習者の一人として生き生きとした生涯学習を体感しています。生涯学習バスは地域から出での学習活動で、効果を上げていると思います。

根本参事兼生涯学習課長：生涯学習都市宣言をしてから20年近く経ちますが、本当に成熟した社会になったのでしょうか。解散した青年団をはじめ、婦人会、子ども会など組織力は今どうでしょうか。公民館が出来て生涯学習の振興ということで、一人一人が学習し心豊かになれば、今度は人のために、近隣のために、子どものために活動し、社会が良くなるという考え方がありました。

浅井委員：おっしゃるとおりです。生涯学習バスですが、1台では足りません。申し込んだ時にすでにいっぱいです。先日、公民館主催の高齢者学級で使いましたが、費用が安い、主事が丁寧な計画をしてくれています。公民館は学習の拠点であり、地域住民に対して、よくしてくれています。しかし、公民館は、しがらみがなく、ここで活動する人があるから老人会が成り立たないという人がいます。

生涯学習は、社会の問題を解決するための個人の学びだったはず。組織に入

りたくない理由に、役につきたくない、自由がきかない、といわれます。老人会もそのように思われています。県内で、老人会の加入率は一番低いです。あるいは、色々なところで色々やっていて事業の奪い合いになってはいないでしょうか。整理したらどうでしょう。

根本参事兼生涯学習課長：婦人会からも20年前にすでに言われたことです。やりすぎてはいけない、「求めに応じて」というところです。

工藤会長：健全育成というところでは、渡辺委員何かご意見はありますか。

渡辺委員：放課後子ども教室は、グラウンドで1時間ほど地域のボランティアが見ている中で、遊びを補完するものである。今はなかなか子どもが大勢の中で自由に遊べる場所を担保することが難しい。公民館行事に、いかだづくりと、通学合宿が二中地区にはある。20名くらいの参加だが、地域の中で、大人と活動し、多様な体験活動が用意されている。生涯学習活動を通じて、人と人をつなげていくことは大切である。最近、心を痛める話が多く、経済・家庭崩壊、DV等、数え切れないほど沢山ある。そういう家庭ほど孤立し、行事に参加していない。しかし、二極化傾向に嘆いているよりも、歩みは小さいかもしれないが、次第に底上げしていけるとよいと思います。

辻本委員：請西小のミニバスの指導をしています。子どものときの記憶があればと祭礼やキャンプ、文京公民館まつりに子どもを参加させています。

金子委員：公民館での学習は、一人ではなく大勢の仲間と学習をし、生きる喜び、学ぶ喜びを共有し、仲間で地域に関わっていけるといいことです。公民館の文化祭も自治会を中心に、子どもの安全安心の活動をしている中で、最近は祭りに子どもの参加が非常に増えています。公民館が長い取り組みの中で培ったものが出てきていると思います。

工藤会長：生涯学習活動が人の心を豊かにするだけでなく、社会問題の解決、家庭のさまざまな問題の解決になっていくでしょう。委員の皆様から貴重なご意見や生涯学習に関する提言等いただきありがとうございます。事務局におかれましては、本日、審議されました意見などを参考に、木更津市の生涯学習体制充実のため一層の努力をお願いいたします。また委員の皆様におかれましては、豊かな生涯学習社会実現のため、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日の会議を閉じさせていただきます。皆様の協力で本日の会議を無事終了することができました。ありがとうございました。

事務局：今後とも本市の生涯学習活動推進のため、委員の皆様にはなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。それでは平成22年度木更津市生涯学習課推進協議会第1回会議を終了いたします。どうもありがとうございました。

木更津市生涯学習推進協議会第1回定例会の議事について本議事録に相違ないことを認めます。

平成22年7月 日

木更津市生涯学習推進協議会会長 工藤 敏夫